

別紙 「病院情報の公表」 ページの作成手順

I. 概要

1. 公開形式

病院情報の公開は Web ページで行うこと。指標公開ページにおいては、各指標に規定の属性等の情報を付加すること。また、各指標はテキストデータの形式での公開も行い、そのデータは指標公開ページからダウンロードできること。

2. 公開内容

令和 6 年度体制評価指数において評価対象であった病院指標の公開に加え、令和 7 年度体制評価指数において新たに評価対象となる医療の質指標の公開についても、「病院情報の公表」内で行うこと。

- ・ 令和 5 年度までの「病院情報の公表」

病院情報の公表
<p>病院指標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 年齢階級別退院患者数 2) 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで） 3) 初発の 5 大癌の UICC 病期分類別並びに再発患者数 4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等 5) 脳梗塞の患者数等 6) 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで） 7) その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

- ・ 令和 6 年度の「病院情報の公表」

病院情報の公表
<p>病院指標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 年齢階級別退院患者数 2) 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで） 3) 初発の 5 大癌の UICC 病期分類別並びに再発患者数 4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等 5) 脳梗塞の患者数等 6) 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで） 7) その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）
<p>医療の質指標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率 2) 血液培養 2 セット実施率 3) 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率

3. 公開までの作業の流れ

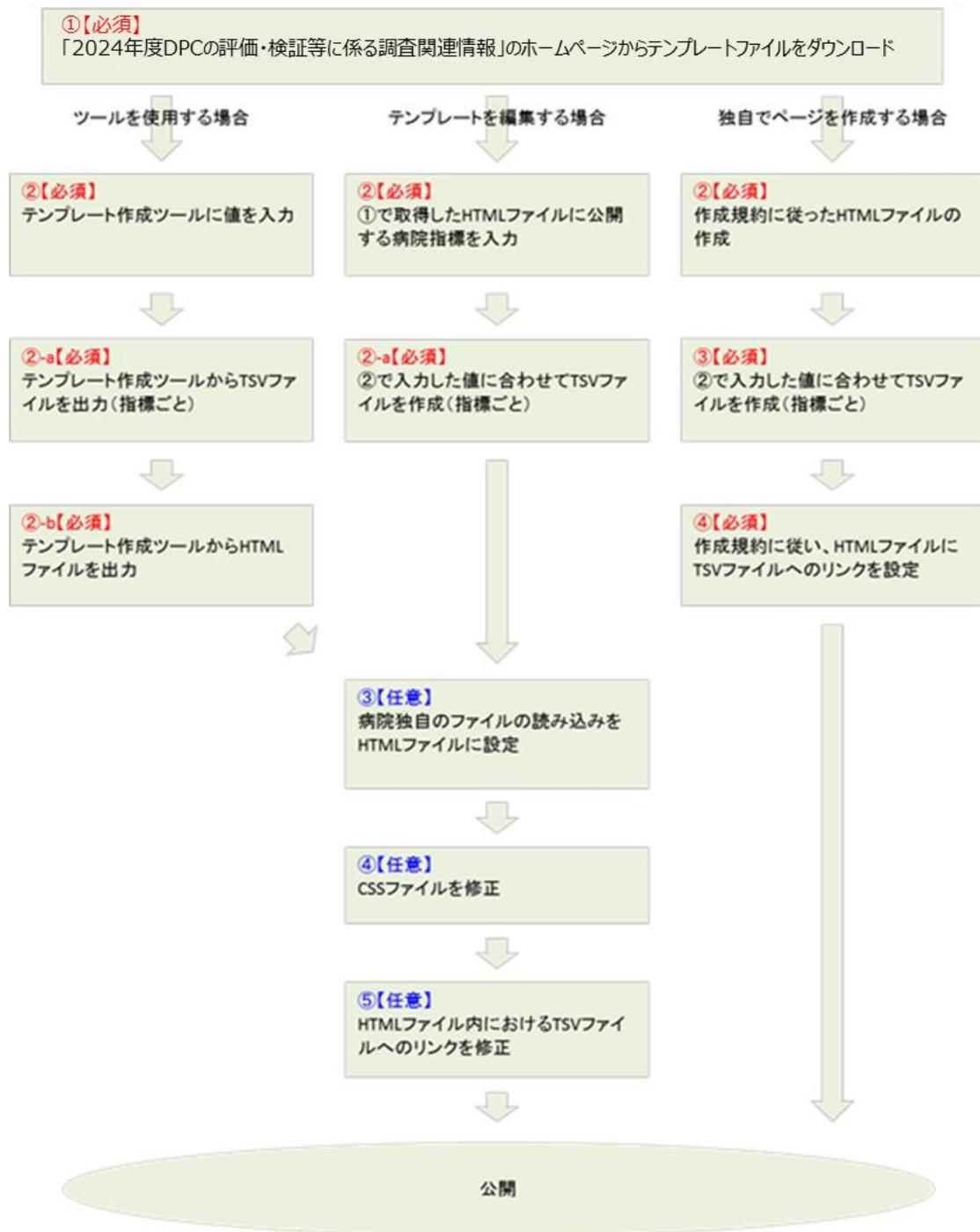
Web ページの作成に際しては、「病院指標」「医療の質指標」の両者に対して、統一的な表記のためのテンプレートを公開する。また、集計値の入力のみでテンプレートに準じた各種ファイルを出力できるツールや、独自で作成する場合の規約を提供する。各医療機関は、いずれかの方法を選択して公開用ページを作成すること。

各手法における、作成～公開までの想定される作業フローを次頁図「公開までの作業フロー」で示す。

各手法の説明は、本書「III. 各作成手法における説明・手順」の以下で示す項を参照すること。

- ・ ツールを使用する場合
P.6 「1. R06 テンプレート作成ツールの利用方法」
- ・ テンプレートを編集する場合
P.16 「2. R06 テンプレート HTML ファイルを利用した公開ページ作成手順」
TSV ファイルについては、P.52 「4. ダウンロード用テキストファイル項目定義」
- ・ 独自で作成する場合
P.47 「3. 病院情報公開ページの作成規約（R06 テンプレートを利用しない場合）」
TSV ファイルについては、P.52 「4. ダウンロード用テキストファイル項目定義」
また、共通で利用される R06 テンプレートファイルについては、「II. 各作成手法共通」
「1. R06（令和6年）テンプレートファイルについて」を参照。

図 公開までの作業フロー



II. 各作成手法共通

1. R06（令和6年）テンプレートファイルについて

①テンプレートの適用範囲と注意事項

Web ページの作成に際して、標準的な表示例、付加情報挿入の実例を示すためにテンプレートを提供する。公開の際、テンプレートをそのまま利用することもできるが、Web ページはその特性として既に公開しているページとのレイアウト等の統一が必要になる場合がある。その際は、テンプレートを以下の方法を用いてカスタマイズするか、別途示す規約に沿って自作する。

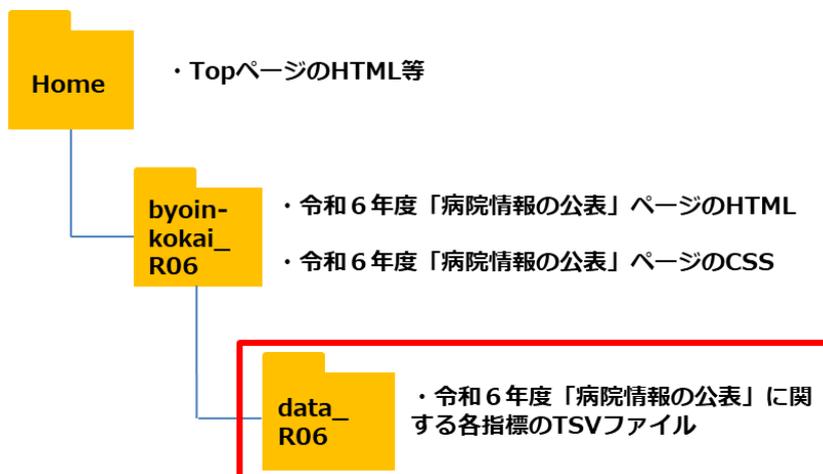
- ・ テンプレートに含まれる Cascading Style Sheets（以下、CSS）ファイルの修正
- ・ 病院独自の CSS ファイルの読み込み
- ・ 病院独自の JS ファイルの読み込み
- ・ テンプレート HTML ファイルの修正 ※1
- ・ 独自に「病院情報の公表」ページの作成 ※1

※1 HTML ファイルの修正や、新規作成の場合は、本書の次項以降を参照し作成すること

また、テンプレートでは TSV ファイル※2 へのリンクがあらかじめ作成されている。配布時のリンク先はテンプレートの HTML ファイルを基準とした相対パス（./data）を指定しているため、下図を参考に TSV ファイルを配置すること。ただし、Web サイトの構成等により指定の場所に TSV ファイルを配置できない場合は任意の場所に配置し、テンプレート HTML のリンク先を配置した場所に合わせて修正すること。

下図は配置の例である。構成は公開している Web サイトごとに異なる。

※2 TSV ファイルの詳細な仕様に関しては本書の「IV.テキストファイル項目定義」を参照のこと



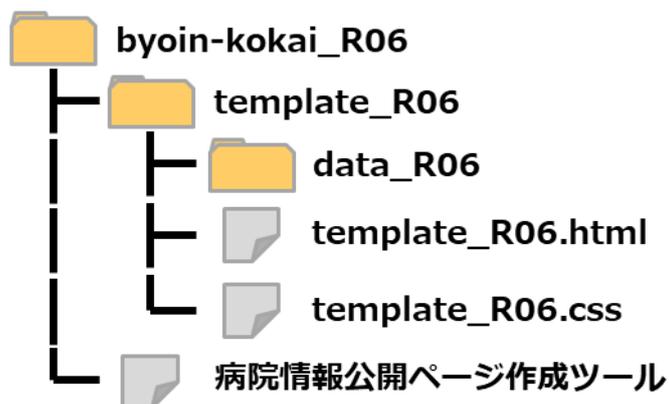
この作業は、配布されたテンプレートを使用するとき、他、ファイル出力ツールで出力した HTML についても、テンプレートと同じ仕様になっているため、同様の対応が必要となる。

②取得方法

「2024 年度 DPC の評価・検証等に係る調査関連情報」のホームページにアクセスし、画面の指示に従ってダウンロードする。

③ダウンロードファイル説明

取得したファイルを圧縮解凍ソフトで展開すると以下のような構成のフォルダとなる。
(利用環境によっては、ピリオド”.”以降の拡張子は表示されない。)



「template_R06」フォルダ以下一式がテンプレートファイルとなる。また、病院情報公開ページ作成ツールへのインターネットショートカットファイル（病院情報公開ページ作成ツール）が含まれる。

「data_R06」フォルダは template_R06.html からの相対的な TSV ファイル配置位置を示すものであり、配布時点では空となっている。

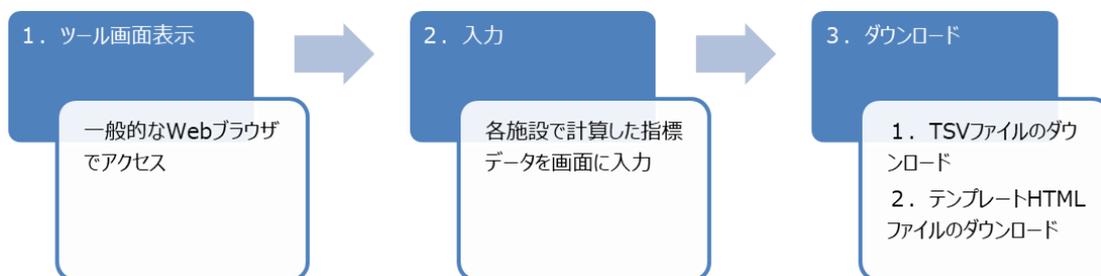
III. 各作成手法における説明・手順

1. R06 テンプレート作成ツールの利用方法

テンプレート作成ツールは、病院情報を公開するための HTML ファイルおよび TSV ファイルの作成を支援するツールである。テンプレート作成ツールの利用にあたっては以下の内容に注意し利用すること。

- ・ Internet Explorer については、開発元である Microsoft 社のサポート終了に伴い、本ツールの動作保証対象外とする。
- ・ 入力値は自動で保存されない。作成途中で中断等をする場合はツールの一時保存機能を利用すること。(P.13「入力値の一時保存について」を参照)
- ・ F5 キーやブラウザの再読み込みボタン等で画面を再読み込みした場合、入力値はすべてクリアされる（初期表示状態に戻る）。
- ・ 入力値の変換や補正は行わない。例えば 10 症例未満の場合の－（ハイフン）表示や、％表示などはツールでは変換しない。
- ・ ツールでの自動入力を行わない。例えば DPC コードからの名称の自動入力を行わない。

ツール利用の流れは以下である。



① ツールへのアクセス

インターネットに接続している PC でテンプレート作成ツールの URL にアクセスする。

URL : <https://byoin-shihyo.prrism.com>

HTMLファイル出力 一時保存
保存 読み込み

令和5年度 病院情報の公表

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

病院指標

年齢階級別退院患者数 ファイルをダウンロード

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	<input type="text"/>									

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで） ファイルをダウンロード

診療科名: 診療科コード:

② 公開する値の入力

- 施設名の入力

令和5年度 病院情報の公表

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

病院指標

年齢階級別退院患者数 ファイルをダウンロード

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	<input type="text"/>									

- 公表する値の入力

各指標に対し、公表する値や解説を入力する。

令和5年度 ○○病院 病院情報の公表

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

病院指標

年齢階級別退院患者数 [ファイルをダウンロード](#)

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	<input type="text"/>									

- ・ 診療科別など、1つの指標内で複数の表を作成が必要な場合の入力
指標の下部にある追加ボタンをクリックすると入力エリアが追加される。次は「診療科を追加」ボタンをクリックし、診療科毎の入力エリアを追加する例である。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで） ファイルをダウンロード

診療科名: 診療科コード:

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (白院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス	
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="削除"/>						
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="削除"/>						
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="削除"/>						
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="削除"/>						
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="削除"/>						

診療科の入力エリアが追加される

診療科名: 診療科コード:

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (白院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス	
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="削除"/>						
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="削除"/>						
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="削除"/>						
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="削除"/>						
<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>	<input type="button" value="削除"/>						

③各指標 TSV ファイルの出力

指標の入力完了後、各指標にある「ファイルをダウンロード」ボタンをクリックする。クリックすると入力値が TSV ファイルとして保存することができる。保存の方法はブラウザにより異なるため、利用しているブラウザに合わせて保存すること。

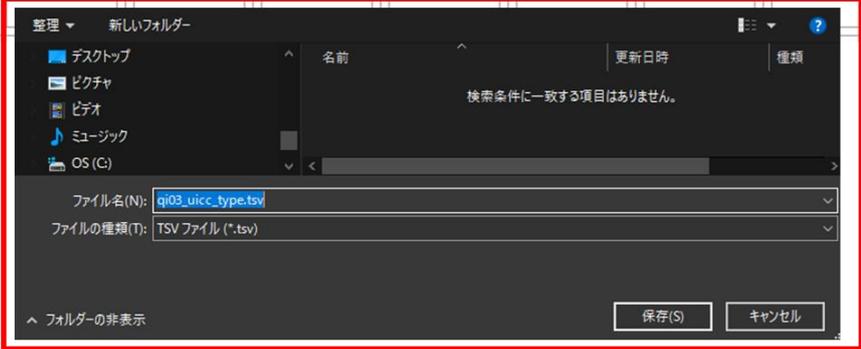
下図は Google Chrome での保存例である。

診療科を追加

初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

ファイルをダウンロード

	初発					再発	病期分類 基準 (※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌								



The screenshot shows a file explorer window with a search bar containing 'qi03_uicc_type.tsv'. The file type is set to 'TSV ファイル (*.tsv)'. The window has '保存(S)' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom right.

④ テンプレート HTML ファイルの出力

全ての入力を完了後、画面上部にある「HTML ファイル出力」ボタンをクリックする。クリックすると入力値が反映された HTML ファイルが保存できる。保存の方法はブラウザにより異なるため、利用しているブラウザに合わせて保存すること。

下図は Google Chrome での保存例である。

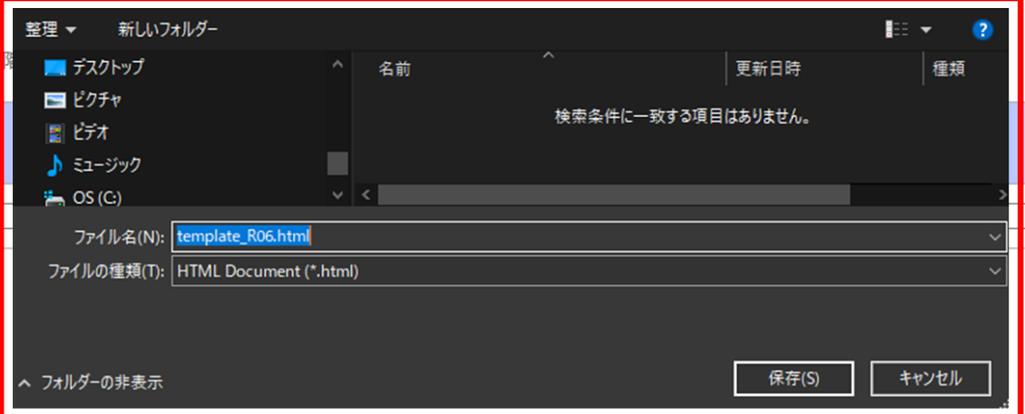


The screenshot shows a green button labeled 'HTMLファイル出力' (HTML File Output) on the left. On the right, there are two buttons under the heading '一時保存' (Temporary Save): '保存' (Save) and '読み込み' (Load).

令和5年度 病院情報の公表

[医療法における病院等の広告規制について \(厚生労働省\)](#)

病院指標



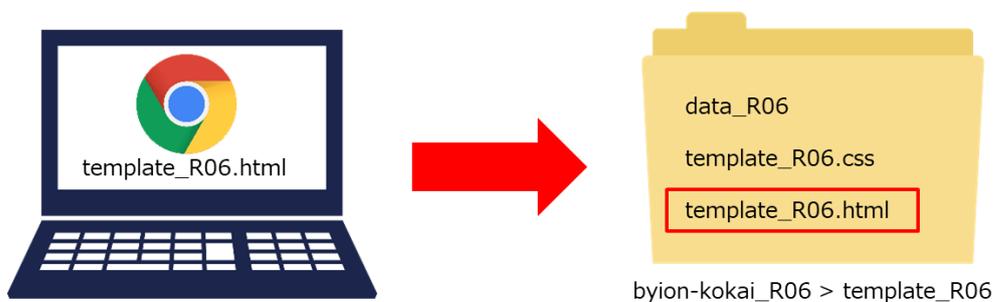
The screenshot shows a file explorer window with a search bar containing 'template_R06.html'. The file type is set to 'HTML Document (*.html)'. The window has '保存(S)' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons at the bottom right.

⑤ テンプレート HTML の確認

保存した HTML ファイルは利用者の PC 上で表示の確認が可能である。「2024 年度 DPC の評価・検証等に係る調査関連情報」のホームページから取得できるテンプレートファイルに含まれる `template_R06.html` を④にて保存したファイルで上書きして確認を行う。次の図はデスクトップに解凍した `template_R06.html` を上書きして確認する例である。



ツールからデスクトップに `template_R06.html` を保存。



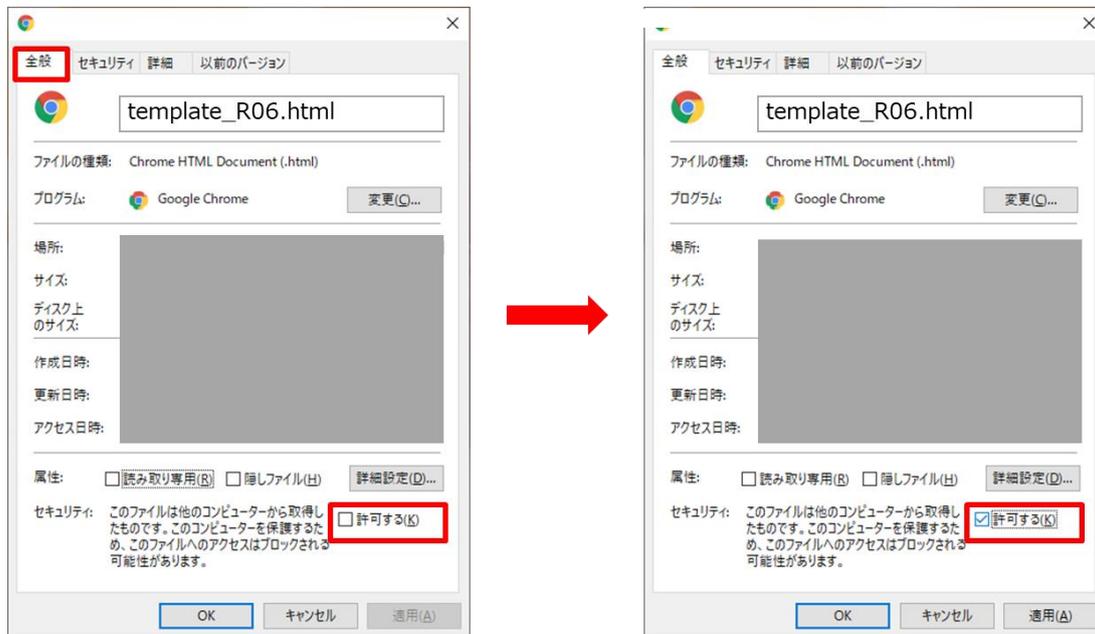
あらかじめデスクトップに解凍しておいたテンプレートファイルの `template_R06.html` を、ツールにて作成した `template_R06.html` で上書きする。



byion-kokai_R06 > template_R06



上書きした template_R06.html を右クリックし、「プロパティ」をクリックする。



全般タブの下部にある「許可する」にチェックを入れ、その後は「OK」ボタンをクリックしていきプロパティ画面を終了する。



template_R06.html をダブルクリックで開き、確認をおこなう。

■ 入力値の一時保存について

本ツールでは入力値の一時保存が可能である。一時保存は、現在のツール上での入力値をデータとするファイル(以下、一時保存ファイルという)を利用者のPCにダウンロードし、再び利用する際にダウンロードした一時保存ファイルを読み込ませることで実現している。データベースやサーバでの保存はセキュリティの観点から一切行わない。そのため、一時保存ファイルを削除してしまった場合の入力値の復元は不可能であるため、ファイルの管理には十分な注意をすること。

一時保存は以下のような状況においての利用を推奨している。

- ・ 入力作業を途中で中断する場合
 - 一時保存ファイルを読み込ませて入力を再開
- ・ 複数人での入力を行う場合
 - 次に入力する担当者に一時保存ファイルを渡す
- ・ すべての入力完了時
 - データの修正等が発生した場合に、一時保存ファイルを読み込ませて修正
 一時保存ファイルを編集した場合、読み込みができなくなる可能性があるため、一時保存ファイルの編集は行わないこと。

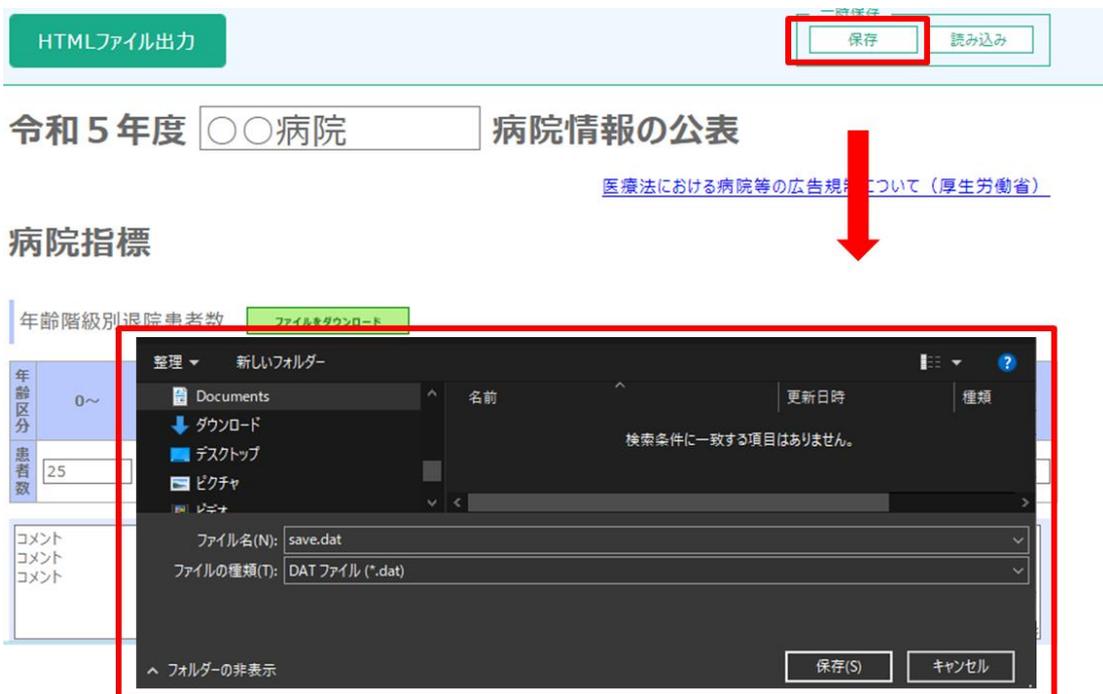
以下に、一時保存の手順を示す。

・ 入力値の保存

画面右上の「保存」ボタンをクリックする。クリックすると入力値が反映された一時保存ファイル (save.dat) が保存できる。保存の方法はブラウザにより異なるため、利用してい

るブラウザに合わせて保存すること。

下図は Google Chrome での保存例である。



- ・ 一時保存ファイルの読み込み

画面右上の「読み込み」ボタンをクリックする。ファイル選択のダイアログが表示されるので、読み込みたい一時保存ファイルを選択し、ダイアログ上の「読み込み」ボタンをクリックする。

読み込み時に画面上で入力した値があった場合に、上書きされるので注意すること。

令和5年度 病院情報の公表

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

病院指標

年齢階級別退院患者数 ファイルを選択

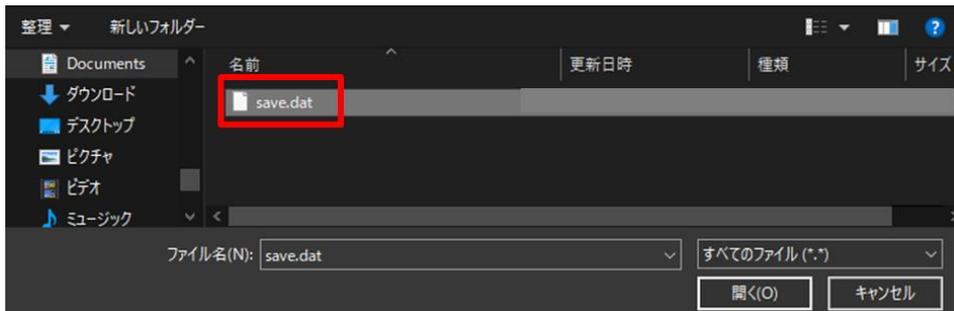
年齢区分	0～	10～	20～	70～	80～	90～
患者数	<input type="text"/>					

読み込みファイルを選択してください。

選択されていません

ファイルを読み込むと現在入力中のデータはすべて上書きされます。ご注意ください。

読み込みたい一時保存ファイルを選択する。



令和5年度 病院情報の公表

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

病院指標

年齢階級別退院患者数 ファイルを選択

年齢区分	0～	10～	20～	70～	80～	90～
患者数	<input type="text"/>					

読み込みファイルを選択してください。

save.dat

ファイルを読み込むと現在入力中のデータはすべて上書きされます。ご注意ください。

HTMLファイル出力

一時保存

保存
読み込み

令和5年度

病院情報の公表

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

病院指標

年齢階級別退院患者数 ファイルをダウンロード

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	25	100	85	68	46	514	742	856	496	524

コメント

コメント

コメント

一時保存した入力値が画面に反映される。

2. R06 テンプレート HTML ファイルを利用した公開ページ作成手順

本項では、病院情報を公開する各医療機関が、公開用 Web ページを作成するにあたって、R06 テンプレート HTML ファイルを（テキストエディタなどで）直接編集する場合の記述方法について説明している。

本説明の対象者は、HTML フォーマットの基本を理解している方を前提としている。

なお、昨年作成したテンプレートファイル（R05 用）を修正して公開ページを作成してもよいが、昨年度との違いに留意して修正すること。

①前提

- ・ 各指標の値は、ブラウザ上では表形式での表示となる。本テンプレートでは<table>タグでの記述となっている。
- ・ 各指標に対する解説は、<div>タグでの記述となっている。
- ・ 書き換え対象となる位置には、対応する HTML コメント（“<!-- ”, “--> ”で囲まれた文字列）が表記されている。書き換え箇所を特定する際に参考にする。
- ・ 令和6年度より新たに「医療の質指標」として「リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率」「血液培養2セット実施率」「広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率」の3つが追加されている。医療の質指標の公開を行う場合に使用すること。医療の質指標の公開を行わない場合は、当該項目は空白と

すること。

②準備

配布テンプレート一式内にあるファイル「template_R06.html」を、任意のテキストエディタで開く。

③注意事項

1) 文字コード

文字コードは各医療機関のホームページ（サイト）の設定に合わせて変更する。配布するテンプレートは「UTF-8」の設定になっている。変更する際は、以下2か所で希望の文字コードへの書き換えが必要となる。

《HTML 変更箇所》

配布するテンプレートでは、<meta>タグ内において、文字コードが「charset=UTF-8」となっている。例えば文字コードを「Shift_JIS」に変更する場合は、「UTF-8」を「Shift_JIS」に書き換える。

```
<!DOCTYPE html>
<html>
    <head>
        <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html;
        charset=UTF-8"/>
        <meta http-equiv="Content-Language" content="ja">
```

《テンプレートファイル保存時》

配布するテンプレートでは、「名前を付けて保存」する際の文字コードセットは「UTF-8」となっている。例えば文字コードを「Shift_JIS」に変更する場合は、「SJIS」を選択し保存する。

2) CSS でのデザイン変更

ページのデザインは、ヘッダ部で宣言している CSS を入れ替えることで自由に変更可能である。変更の方法として、配布したテンプレート CSS ファイルの内容をテキストエディタなどで直接変更する方法と、医療機関独自の CSS を用いる方法がある。各タグで宣言している「class」属性値は、テンプレート HTML ファイル上では「template-table」などになっているが、「class」の入れ替えは可能である。

3) CSS のパスの変更

配布したテンプレートでは、CSS のパスが、同じフォルダに入っていることを前提とし

で記載されている。同じ階層にない場合は、そのパスを入力する。

```
<head>
    <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8"/>
    <meta http-equiv="Content-Language" content="ja">
    <meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="IE=edge"/>
    <!-- CSS import -->
    <link type="text/css" rel="stylesheet" href="template_R06.css"/>
    <!-- このtitle内には施設名+「病院指標」を入力してください。-->
    <title></title>
</head>
```

ここにCSSのパスを入力する

4) 各指標にある「ファイルをダウンロード」

各指標における「ファイルをダウンロード」ボタンにより、記入した指標値をタブ区切りのテキストファイルとしてダウンロードできるようにする。TSV ファイルの配置場所を変更する場合は、各指標のパスを変更する。

年齢階級別退院患者数

年齢区分	0~	10~	20~	30~	40~	50~
患者数						

このパスを変更する

```
<!-- 【指標1】年齢階級別退院患者数 -->
<div class="div-title" id="qi01">年齢階級別退院患者数<a class="csv_btn qi_data_link" href="/data_R06/qi06_age_series.tsv">
```

5) 更新履歴

配布したテンプレートの最後のほうに記載された<!-- 【更新履歴】 -->コメントに着目する。

```
<!-- 【更新履歴】 -->
<div class="div-title-hist" id="up_hist">更新履歴</div>
<dl class="hist_list" id="up_hist_list">
```

配布時のテンプレートでは、一つの更新履歴に対応している。更新履歴を増やす場合には、“① 更新履歴を増やす場合” から順に従う。更新履歴を増やさない場合には“② 更新履歴の記入箇所” から順に従う。

i. 更新履歴を増やす場合

<!-- 更新履歴を追加する場合は、下記の dt タグ、dd タグをセットでコピーして (5) の下もしくは (6) の上に張り付けてください --> のコメントに従って、記入箇所を追加する。

```
<!-- 更新履歴を追加する場合は、下記のdtタグ、ddタグをセットでコピーして(5)の下もしくは(6)の上に張り付けてください-->
```

```
<!-- (5) -->  
<!-- 更新履歴の日付をdt内に入力してください。-->  
<dt></dt>  
<!-- 更新履歴の詳細をdd内に入力してください。-->  
<dd></dd>  
<!-- (6) -->
```

ii. 更新履歴の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```
<!-- (5) -->  
<!-- 更新履歴の日付をdt内に入力してください。-->  
<dt>2024/9/21</dt>  
<!-- 更新履歴の詳細をdd内に入力してください。-->  
<dd>成人市中肺炎の重症度別患者数等 更新</dd>  
<!-- (6) -->
```

【ブラウザでの表示】

更新履歴

2024/9/21 成人市中肺炎の重症度別患者数等 更新

《書き換え箇所の説明》

- ・ <!-- 更新履歴の日付を dt 内に入力してください。 -->コメント行の下に記載された <dt>タグに更新履歴の日付を入力する。
- ・ <!-- 更新履歴の詳細を dd 内に入力してください。 -->コメント行の下に記載された <dd>タグに更新履歴の詳細を入力する。

```
<div class="div-title-hist" id="up_hist">更新履歴</div>  
<dl class="hist_list" id="up_hist_list">  
  <!-- 更新履歴を追加する場合は、下記のdtタグ、ddタグをセットでコ  
  ピーして(5)の下もしくは(6)の上に張り付けてください-->  
  <!-- (5) -->  
  <!-- 更新履歴の日付をdt内に入力してください。-->  
  <dt></dt>  
  <!-- 更新履歴の詳細をdd内に入力し  
  <dd></dd>  
  <!-- (6) -->
```

これらの箇所が書き換え対象となる

④ 【病院指標】 各指標別の説明

1) 年齢階級別退院患者数

i. 指標値の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```
<tr><!-- 年齢階級別退院患者数はここのtd内に入力してください -->
  <th>患者数</th>
  <td class="number-cell">254</td>
  <td class="number-cell">122</td>
  <td class="number-cell">136</td>
  <td class="number-cell">223</td>
  <td class="number-cell">356</td>
  <td class="number-cell">436</td>
  <td class="number-cell">885</td>
  <td class="number-cell">902</td>
  <td class="number-cell">1,125</td>
  <td class="number-cell">879</td>
</tr>
```

【ブラウザでの表示】

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	254	122	136	223	356	436	885	902	1,125	879

《書き換え箇所の説明》

HTML コメント<!-- 【指標 1】 年齢階級別退院患者数 -->の下に記載された id="age_series"属性のある<table>タグが、書き換え対象の表となる。

```
<!-- 【指標 1】年齢階級別退院患者数 -->
<div class="div-title" id="qi01">年齢階級別退院患者数<a class="csv_btn
qi_data_link" href="/data_R06/qi01_age_series.tsv" target="_blank">ファイルをダ
ウンロード</a></div>
<table class="template-table" id="age_series">
  <tr>
```

<!-- 年齢階級別退院患者数はここの td 内に入力してください -->コメントが記載された <tr>タグ内において、<td>タグに指標値を入力する。上から年齢階級「0～」「10～」…の順に、ブラウザ表示の左から対応している。

```

<tr><!-- 年齢階級別退院患者数はこのtd内に入力してください -->
  <th>患者数</th>
  <td class="number-cell"></td>
  <td class="number-cell"></td>
</tr>

```

この範囲が書き換え対象となる

ii. 解説の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```

</table>
<!-- 年齢階級別退院患者数の解説はこのdiv内に入力してください -->
<div class="comment" id="age_series_comment">当院は・・・</div>

```



【ブラウザでの表示】

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～
患者数	254	122	136	223	356

当院は・・・

《書き換え箇所の説明》

<!-- 年齢階級別退院患者数の解説はこの div 内に入力してください -->コメント行の下に記載された id="age_series_comment"の<div>タグに解説を入力する。

```

</table>
<!-- 年齢階級別退院患者数の解説はこのdiv内に入力してください -->
<div class="comment" id="age_series_comment"></div>

```

2) 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

テンプレート内の HTML コメント<!-- 【指標2】診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで） -->に着目する。

```
<!-- 【指標2】診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで） -->
<div class="div-title" id="qi02">診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）<a class="csv_btn qi_data_link"
href="/data_R06/qi02_clinical_departments_top5.tsv" target="_blank">ファイルをダウンロード</a></div>
<div id="clinical_departments_top5">
```

配布時のテンプレートは、1つの診療科分を用意している。診療科を増やす場合には、以下の“① 診療科を増やす場合”から順に従う。診療科を増やさない場合には“② 指標値の記入箇所”から順に従う。

i. 診療科を増やす場合

<!-- （1）診療科を増やす場合はここから（2）までをコピーして（2）の下に張り付けてください。 -->のコメントに従う。

id="cd_top5_nm_0"などのidの連番は、増やした診療科分に対して、“0”を”1”、“2”…に書き換えることで更新を行う。idの連番を書き換える箇所は、下記の赤線に示すように4箇所である。

```
<!-- 【指標2】診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで） -->
<div class="div-title" id="qi02">診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）<a class="csv_btn qi_data_link"
href="/data_R06/qi02_clinical_departments_top5.tsv" target="_blank">ファイルをダウンロード</a></div>
<div id="clinical_departments_top5">
<!-- （1）診療科を増やす場合はここから（2）までをコピーして（2）の下に張り付けてください。 -->
<!-- このdiv内には診療科名を入力してください。 -->
<div id="cd_top5_nm_0"></div>
<!-- このhiddenのvalue値に診療科コードを入力してください。 -->
<input type="hidden" value="" id="cd_top5_cd_0"/>
<table class="template-table" id="cd_top5_tbl_0">
</table>
<!-- 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで） 診療科別の解説はこのdiv内に入力してください -->
<div class="comment" id="cd_top5_comment_0"></div>
<!-- （2）ここまで -->
```

ii. 指標値の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```

<tr><!-- 診療科別患者数上位1位である症例数の情報はここのtd内に入力
してください -->
    <td>050030xx9911xx</td>
    <td>急性心筋梗塞(続発合併症を含む)、再発性心筋梗塞
</td>
    <td class="number-cell">100</td>
    <td class="number-cell">〇〇</td>
    <td class="number-cell">△△</td>
    <td class="number-cell">□□</td>
    <td class="number-cell">60</td>
    <td>*****</td>
</tr>

```

【ブラウザでの表示】

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用パス
050030xx9911xx	急性心筋梗塞(続発合併症を 含む)、再発性心筋梗塞	100	〇〇	△△	□□	60	*****

《書き換え箇所の説明》

HTML コメント<!-- **【指標2】** 診断群分類別患者数等 (診療科別患者数上位5位まで) -->行の下に記載された id="cd_top5_tbl_0"属性のある<table>タグが、書き換え対象の表となる。

```

<!-- 【指標2】 診断群分類別患者数等 (診療科別患者数上位5位まで) -->
<div class="div-title" id="qi02">診断群分類別患者数等 (診療科別患者数上位5位ま
で) <a class="csv_btn qi_data_link"
href="/data_R06/qi02_clinical_departments_top5.tsv" target="_blank">ファイルをダウ
ンロード</a></div>
<div id="clinical_departments_top5">
    <!-- (1) 診療科を増やす場合はここから(2)までをコピーして(2)の下
に張り付けてください。 -->
    <!-- このdiv内には診療科名を入力してください。 -->
    <div id="cd_top5_nm_0">脳神経外科</div>
    <!-- このhiddenのvalue値に診療科コードを入力してください。 -->
    <input type="hidden" value="" id="cd_top5_cd_0"/>
    <table class="template-table" id="cd_top5_tbl_0">

```

<!-- この div 内には診療科名を入力してください。 -->コメント行の下に記載された<div>タグに、診療科名を入力する。

```
<!-- このdiv内には診療科名を入力してください。 -->  
<div id="cd_top5_nm_0"></div>
```

<!-- この hidden の value 値に診療科コードを入力してください。 -->コメント行の下に記載された<input>タグの value="" に、診療科コードを入力する。診療科コードを複数入力する場合は、";"（セミコロン）で区切って入力する。

```
<!-- このhiddenのvalue値に診療科コードを入力してください。 -->  
<input type="hidden" value="" id="cd_top5_cd_0"/>
```

<!-- 診療科別患者数上位1位である症例数の情報はこの td 内に入力してください -->コメントが記載された<tr>タグ内において、<td>タグに指標値を入力する。上から「DPCコード」「DPC 名称」「患者数」…の順に、ブラウザ表示の項目名の左から対応している。

```
<tr><!-- 診療科別患者数上位1位である症例数の情報はこのtd内に入力してください -->  
    <td></td>  
    <td></td>  
    <td class="number-cell"></td>  
    <td class="number-cell"></td>  
    <td class="number-cell"></td>  
    <td class="number-cell"></td>  
    <td class="number-cell"></td>  
    <td></td>  
</tr>
```

この範囲が書き換え対象となる

ivで最下部の<td>タグに患者用パスを入力する。患者用パスを追加する場合は、1つのDPCコードにつき作成は3つまでとし、対象の<td>タグ内に収まるようにする。患者用パスは、<a>タグを使用し属性を href として下記の入力例のように入力する。

《入力例》

```

<tr><!-- 診療科別患者数上位1位である症例数の情報はここのtd内に入力してください -->
  <td>050030xx9911xx</td>
  <td>急性心筋梗塞(続発合併症を含む)、再発性心筋梗塞</td>
  <td class="number-cell">100</td>
  <td class="number-cell">〇〇</td>
  <td class="number-cell">△△</td>
  <td class="number-cell">□□</td>
  <td class="number-cell">60</td>
  <td><a href="リンク先URL">*****</a>
  <a href="リンク先URL">◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇</a>
  <a href="リンク先URL">●●●●●●●●●●</a></td>
</tr>

```

この部分に患者用パスを入力(3つまで)

「診療科別患者数上位2位である症例数」「診療科別患者数上位3位である症例数」「診療科別患者数上位4位である症例数」「診療科別患者数上位5位である症例数」についても、各コメントの記載された<tr>タグ内において、iv～vと同様に、<td>タグに指標値を入力する。

診療科別患者数上位4位および5位を記載しない場合は、上位4位および5位の全項目に、“-” (ハイフン) を入力する。

増やした診療科についても、上述と同様にして指標値を入力する。

iii. 解説の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```

<!-- 診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで) 診療科別の解説はこのdiv内に入力してください -->
<div class="comment" id="cd_top5_comment_0">当院は・・・</div>

```

【ブラウザでの表示】

050030xx9911xx	併症を含む)、再発性心筋梗塞	100	〇〇
----------------	----------------	-----	----

当院は・・・

《書き換え箇所の説明》

```

<!-- 診断群分類別患者数等 (診療科別患者数上位 5 位まで) 診療科別の解説はこの div

```

内に入力してください -->コメント行の下に記載された id="cd_top5_comment"の<div>タグに解説を入力する。

```
<!-- 診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで) 診療科別の解説はこのdiv内に入力してください -->
<div class="comment" id="cd_top5_comment_0"></div>
```

3) 初発の5大癌の UICC 病期分類別並びに再発患者数

i. 指標値の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```
<tr><!-- 胃癌の情報はここのtd内に入力してください -->
  <th>胃癌</th>
  <td class="number-cell">15</td>
  <td class="number-cell">10</td>
  <td class="number-cell">-</td>
  <td class="number-cell">-</td>
  <td class="number-cell">-</td>
  <td class="number-cell">12</td>
  <td class="number-cell">1</td>
  <td class="number-cell">7</td>
</tr>
```

【ブラウザでの表示】



	初発					再発	病期分類 基準 (※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	15	10	-	-	-	12	1	7

《書き換え箇所の説明》

HTML コメント<!-- 【指標 3】 初発の5大癌の UICC 病期分類別並びに再発患者数 -->行の下に記載された id="uicc_type"属性のある<table>タグが、書き換え対象の表となる。

```
<!-- 【指標3】初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数 -->
<div class="div-title" id="qi03">初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数<a
class="csv_btn qi_data_link" href="/data_R06/qi03_uicc_type.tsv" target="_blank">
ファイルをダウンロード</a></div>
<table class="template-table" id="uicc_type">
  <tr>
```

<!-- 胃癌の情報はここの td 内に入力してください -->コメントが記載された<tr>タグ内において、<td>タグに指標値を入力する。上から「Stage I」「Stage II」…の順に、ブラウザ表示の項目名の左から対応している。

```
<tr><!-- 胃癌の情報はここのtd内に入力してください -->
  <th>胃癌</th>
  <td class="number-cell"></td>
  <td class="number-cell"></td>
</tr>
```

この範囲が書き
換え対象となる

「大腸癌」「乳癌」「肺癌」「肝癌」についても、各コメントが記載された<tr>タグ内において、iiと同様に、<td>タグに指標値を入力する。

ii. 解説の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```
<span>※&nbsp;1: UICC TNM分類, 2: 癌取り扱い規約</span>  
<!-- 初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数の解説はこのdiv内  
に入力してください -->  
<div class="comment" id="uicc_type_comment">当院は・・・</div>
```

【ブラウザでの表示】

※ 1 : UICC TNM分類, 2 : 癌取り扱い規約

当院は・・・

《書き換え箇所の説明》

<!-- 初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数の解説はこのdiv内に入力してください -->コメント行の下に記載された id="uicc_type_comment"の<div>タグに解説を入力する。

```
<span>※&nbsp;1: UICC TNM分類, 2: 癌取り扱い規約</span>  
<!-- 初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数の解説はこのdiv内  
に入力してください -->  
<div class="comment" id="uicc_type_comment"></div>
```

4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等

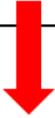
i. 指標値の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```
<tr><!-- 重症度 軽症の情報はここのtd内に入力してください -->
  <th>軽症</th>
  <td class="number-cell">10</td>
  <td class="number-cell">□□</td>
  <td class="number-cell">△△</td>
</tr>
```

【ブラウザでの表示】



	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	10	□□	△△

《書き換え箇所の説明》

HTML コメント<!-- 【指標4】成人市中肺炎の重症度別患者数等 -->行の下に記載された id="com_acquired"属性のある<table>タグが、書き換え対象の表となる。

```
<!-- 【指標4】成人市中肺炎の重症度別患者数等 -->
<div class="div-title" id="qi04">成人市中肺炎の重症度別患者数等<a
class="csv_btn qi_data_link" href="/data_R06/qi04_com_acquired.tsv"
target="_blank">ファイルをダウンロード</a></div>
<table class="template-table" id="com_acquired">
```

<!-- 重症度 軽症の情報はここの td 内に入力してください -->コメントが記載された<tr>タグ内において、<td>タグに指標値を入力する。上から「患者数」「平均在院日数」「平均年齢」の順に、ブラウザ表示の項目名の左から対応している。

```
<tr><!-- 重症度 軽症の情報はここのtd内に入力してください -->
  <th>軽症</th>
  <td class="number-cell"></td>
  <td class="number-cell"></td>
  <td class="number-cell"></td>
</tr>
```

} この範囲が書き換え対象となる

「中等症」「重症」「超重症」「不明」についても、各コメントが記載された<tr>タグ内において、iiと同様に、<td>タグに指標値を入力する。

ii. 解説記述箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```
<!-- 成人市中肺炎の重症度別患者数等の解説はこのdiv内に入力してください -->
<div class="comment" id="com_acquired_comment">当院は・・・</div>
```

【ブラウザでの表示】

不明	10	□□	△△
----	----	----	----



当院は・・・

《書き換え箇所の説明》

<!-- 成人市中肺炎の重症度別患者数等の解説はこの div 内に入力してください -->コメント行の下に記載された id="com_acquired_comment"の<div>タグに解説を入力する。

```
<!-- 成人市中肺炎の重症度別患者数等の解説はこのdiv内に入力してください -->
<div class="comment" id="com_acquired_comment"></div>
```

5) 脳梗塞の患者数等

配布時のテンプレートは、「発症日から」を「3 日以内」と「その他」に分ける場合に対応している。「発症日から」を「3 日以内」と「その他」に分けない場合には、以下の“①指標値の記入箇所”の“《書き換え箇所の説明》 ii (b)”に従う。

i. 指標値の記入箇所

- ・ (a) 「発症日から」を「3 日以内」と「その他」に分ける場合

《入力例》

【ファイル内容】

```
<tr><!-- 脳梗塞の情報はここのtd内に入力してください -->
  <th>3日以内</th>
  <td class="number-cell">10</td>
  <td class="number-cell">〇〇</td>
  <td class="number-cell">△△</td>
  <td class="number-cell">□□</td>
</tr>
<tr>
  <th>その他</th>
  <td class="number-cell">15</td>
  <td class="number-cell">●●</td>
  <td class="number-cell">◆◆</td>
  <td class="number-cell">▼▼</td>
</tr>
```



【ブラウザでの表示】

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	10	〇〇	△△	□□
その他	15	●●	◆◆	▼▼

- ・ (b) 「発症日から」を「3日以内」と「その他」に分けない場合

【ファイル内容】

```
<tr><!-- 脳梗塞の情報はここのtd内に入力してください -->
  <th>-</th>
  <td class="number-cell">10</td>
  <td class="number-cell">〇〇</td>
  <td class="number-cell">◆◆</td>
  <td class="number-cell">▼▼</td>
</tr>
```



【ブラウザでの表示】

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
-	10	〇〇	◆◆	▼▼

《書き換え箇所の説明》

HTML コメント<!-- 【指標5】脳梗塞の ICD10 別患者数等 -->行の下に記載された id="ci_icd10"属性のある<table>タグが、書き換え対象の表となる。

```
<!-- 【指標5】脳梗塞の患者数等 -->
<div class="div-title" id="qi05">脳梗塞の患者数等<a class="csv_btn qi_data_link"
href="/data_R06/qi05_ci_icd10.tsv" target="_blank">ファイルをダウンロード
</a></div>
<table class="template-table" id="ci_icd10">
```

- ・ (a) 「発症日から」を「3日以内」と「その他」に分ける場合

<!-- 脳梗塞の情報はここの td 内に入力してください -->のコメントが記載された1つ目と2つ目の<tr>タグ内において、<td>タグに指標値を入力する。上から「患者数」「平均在院日数」「平均年齢」「転院率」の順で、ブラウザ表示の項目名の左から対応している。

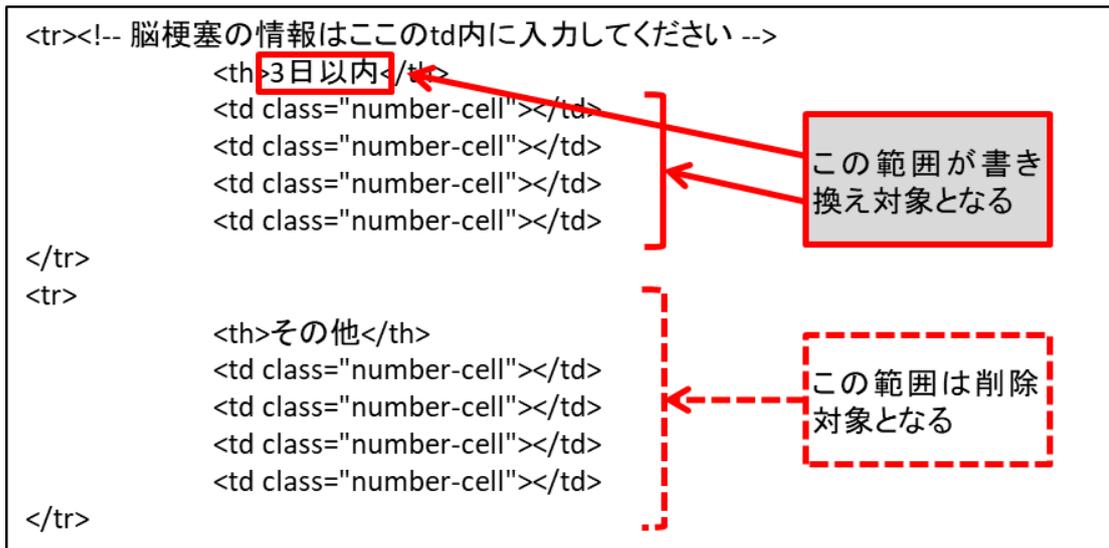
```
<tr><!-- 脳梗塞の情報はここのtd内に入力してください -->
    <th>3日以内</th>
    <td class="number-cell"></td>
    <td class="number-cell"></td>
    <td class="number-cell"></td>
    <td class="number-cell"></td>
</tr>
<tr>
    <th>その他</th>
    <td class="number-cell"></td>
    <td class="number-cell"></td>
    <td class="number-cell"></td>
    <td class="number-cell"></td>
</tr>
```

この範囲が書き換え対象となる

- ・ (b) 「発症日から」を「3日以内」と「その他」に分けない場合

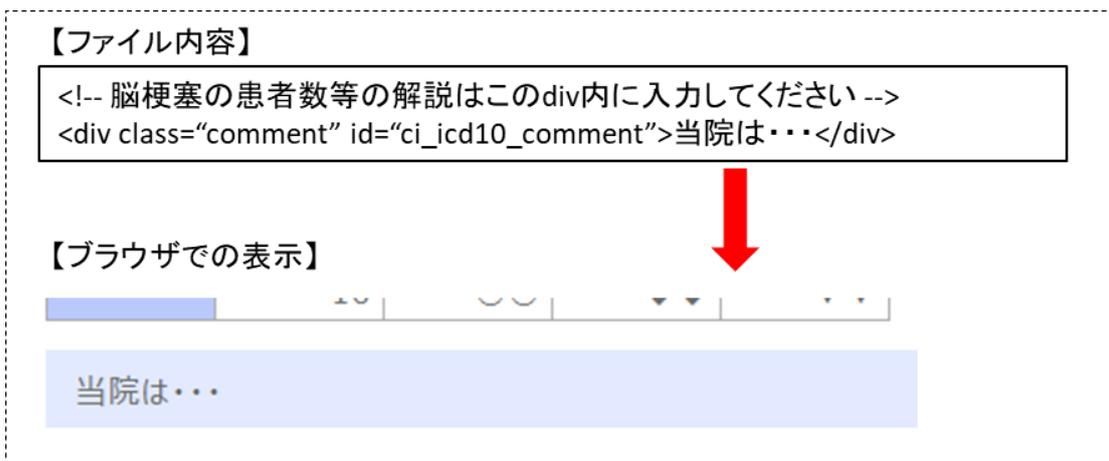
<!-- 脳梗塞の情報はここの td 内に入力してください -->の「発症日から」の<th>タグは、”-” (ハイフン) に書き換える。また、同<tr>タグ内の<td>タグに、指標値を入力する。上から「患者数」「平均在院日数」「平均年齢」「転院率」の順に、ブラウザ表示の項目名の左から対応している。

<!-- 脳梗塞の情報はここの td 内に入力してください -->のコメントが記載された2つ目の<tr>タグは削除する。



ii. 解説の記入箇所

《入力例》



《書き換え箇所の説明》

<!-- 脳梗塞の患者数等の解説はこの div 内に入力してください -->コメント行の下に記載された id="ci_icd10_comment"の<div>タグに解説を入力する。

```

<!-- 脳梗塞の患者数等の解説はこのdiv内に入力してください -->
<div class="comment" id="ci_icd10_comment"></div>

```

6) 診療科別主要手術別患者数等 (診療科別患者数上位 5 位まで)

テンプレート内の HTML コメント<!-- 【指標 6】 診療科別主要手術別患者数等 (診療科別患者数上位 5 位まで) -->に着目する。

```

<!-- 【指標6】診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位5位ま
で) -->
<div class="div-title" id="qi06">診療科別主要手術別患者数等(診療科別患
者数上位5位まで)<a class="csv_btn qi_data_link"
href="/data_R06/qi06_ope_days_top5.tsv" target="_blank">ファイルをダウ
ンロード</a></div>
<div id="ope_days_top5">

```

配布時のテンプレートは、1つの診療科分を用意している。診療科を増やす場合には、以下の“① 診療科を増やす場合”から順に従う。診療科を増やさない場合には“② 指標値の記入箇所”から順に従う。

i. 診療科を増やす場合

<!-- (3) 診療科を増やす場合はここから(4)までをコピーして(4)の下に張り付けてください。 -->のコメントに従う。

id="ope_top5_nm_0"などidの連番は、増やした診療科分に対して、“0”を”1”、“2”…に書き換えることで更新を行う。idの連番を書き換える箇所は、下記の赤線に示すように4箇所である。

```

<!-- 【指標6】診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位5位ま
で) -->
<div class="div-title" id="qi06">診療科別主要手術別患者数等(診療科別患
者数上位5位まで)<a class="csv_btn qi_data_link"
href="/data_R06/qi06_ope_days_top5.tsv" target="_blank">ファイルをダウ
ンロード</a></div>
<div id="ope_days_top5">
<!-- (3) 診療科を増やす場合はここから(4)までをコピーして(4)の下に張り
付けてください。 -->
<!-- このDIV内には診療科名を入力してください。 -->
<div id="ope_top5_nm_0"></div>
<!-- このhiddenのvalue値に診療科コードを入力してください。 -->
<input type="hidden" value="" id="ope_top5_cd_0"/>
<table class="template-table" id="ope_top5_tbl_0">
</table>
<!-- 診療科別主要手術別患者数等... 診療科別の解説はこのdiv内に入力し
てください -->
<div class="comment" id="ope_top5_comment_0"></div>
<!-- (4) ここまで -->

```

ii. 指標値の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```
<tr><!-- 診療科別患者数上位1位の情報はここのtd内に入力してください -->
<td>K6335</td>
<td>鼠経ヘルニア手術</td>
<td class="number-cell">100</td>
<td class="number-cell">□□</td>
<td class="number-cell">■ ■</td>
<td class="number-cell">○○</td>
<td class="number-cell">▲▲</td>
<td>*****</td>
</tr>
```



【ブラウザでの表示】

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K6335	鼠経ヘルニア手術	100	□□	■ ■	○○	▲▲	*****

《書き換え箇所の説明》

HTML コメント<!-- 【指標 6】 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで） -->行の下に記載された id="ope_top5_tbl_0"属性のある<table>タグが、書き換え対象の表となる。

```
<!-- 【指標6】診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位5位まで) -->
<div class="div-title" id="qi06">診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)<a class="csv_btn qi_data_link" href="/data_R06/qi06_ope_days_top5.tsv" target="_blank">ファイルをダウンロード</a></div>
<div id="ope_days_top5">
  <!-- (3) 診療科を増やす場合はここから(4)までをコピーして(4)の下に張り付けてください。 -->
  <!-- このDIV内には診療科名を入力してください。 -->
  <div id="ope_top5_nm_0"></div>
  <!-- このhiddenのvalue値に診療科コードを入力してください。 -->
  <input type="hidden" value="" id="ope_top5_cd_0"/>
  <table class="template-table" id="ope_top5_tbl_0">
```

<!-- この div 内には診療科名を入力してください。 -->コメント行の下にある<div>タグに、診療科名を入力する。

```
<!-- このDIV内には診療科名を入力してください。 -->  
<div id="ope_top5_nm_0"></div>
```

<!-- この hidden の value 値に診療科コードを入力してください。 -->コメント行の下に記載された<input>タグの value="" に診療科コードを入力する。診療科コードを複数入力する場合は、”;”（セミコロン）で区切って入力する。

```
<!-- このhiddenのvalue値に診療科コードを入力してください。 -->  
<input type="hidden" value="" id="ope_top5_cd_0"/>
```

<!-- 診療科別患者数上位1位の情報はここの td 内に入力してください -->コメントが記載された<tr>タグ内において、<td>タグに指標値を入力する。上から「K コード」「名称」「患者数」の順に、ブラウザ表示の項目名の左から対応している。

```
<tr><!-- 診療科別患者数上位1位の情報はここのtd内に入力してください -->  
    <td></td>  
    <td></td>  
    <td class="number-cell"></td>  
    <td class="number-cell"></td>  
    <td class="number-cell"></td>  
    <td class="number-cell"></td>  
    <td class="number-cell"></td>  
    <td></td>  
</tr>
```

この範囲が書き換え対象となる

ivで最下部の<td>タグに患者用パスを入力する。患者用パスを追加する場合は、1つのDPCコードにつき作成は3つまでとし、対象の<td>タグ内に収まるようにする。患者用パスは、<a>タグを使用し、属性を href として下記の入力例のように入力する。

《入力例》

```

<tr><!-- 診療科別患者数上位1位の情報はここのtd内に入力してください -->
  <td>K6335</td>
  <td>鼠経ヘルニア手術</td>
  <td class="number-cell">100</td>
  <td class="number-cell">□□</td>
  <td class="number-cell">■ ■</td>
  <td class="number-cell">○○</td>
  <td class="number-cell">▲▲</td>
  <td><a href="リンク先URL">*****</a>
  <a href="リンク先URL">◇◇◇◇◇◇◇◇</a>
  <a href="リンク先URL">●●●●●●●●</a></td>
</tr>

```

この部分に患者用パスを入力(3つまで)

「診療科別患者数上位2位の情報」「診療科別患者数上位3位の情報」「診療科別患者数上位4位の情報」「診療科別患者数上位5位の情報」についても、各コメントが記載された<tr>タグ内において、iv～vと同様に、<td>タグに指標値を入力する。なお、診療科別患者数上位4位および5位を記載しない場合は、上位4位および5位の全項目に、“-”（ハイフン）を入力する。

増やした診療科についても、上記と同様にして入力する。

iii. 解説の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```

<!-- 診療科別主要手術別患者数等... 診療科別の解説はこのdiv内に入力してください -->
<div class="comment" id="ope_top5_comment_0">当院は・・・</div>

```

【ブラウザでの表示】

《書き換え箇所の説明》

<!-- 診療科別主要手術別患者数等... 診療科別の解説はこの div 内に入力してください -->
->コメント行の下に記載された<div>タグに解説を入力する。

```
<!-- 診療科別主要手術別患者数等... 診療科別の解説はこのdiv内に入力してください -->
<div class="comment" id="ope_top5_comment_0"></div>
```

7) その他 (DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

i. 指標値の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```
<tr><!-- 130100の情報はここのtd内に入力してください -->
  <th rowspan="2">130100</th>
  <th rowspan="2" class="left_align">播種性血管内凝固症候群</th>
  <th>同一</th>
  <td class="number-cell">20</td>
  <td class="number-cell">□□</td>
</tr>
<tr>
  <th>異なる</th>
  <td class="number-cell">30</td>
  <td class="number-cell">■ ■</td>
</tr>
```



【ブラウザでの表示】

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	20	□□
		異なる	30	■ ■

《書き換え箇所の説明》

HTML コメント<!-- 【指標 7】 その他 (DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率) -->行の下に記載された id="dic_rate"属性のある<table>タグが、書き換え対象の表となる。

```

<!-- 【指標7】その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率) -->
<div class="div-title" id="qi07">その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)<a class="csv_btn qi_data_link" href="/data_R06/qi07_dic_rate.tsv" target="_blank">ファイルをダウンロード</a></div>
<table class="template-table" id="dic_rate">

```

<!-- 130100の情報はここのtd内に入力してください -->コメントの記載された<tr>タグ内において、<td>タグに指標値を入力する。「入院契機」の区分に関わらず、上から「症例数」「発生率」の順になっており、ブラウザ表示の項目名の左から対応している。

```

<tr><!-- 130100の情報はここのtd内に入力してください -->
    <th rowspan="2">130100</th>
    <th rowspan="2" class="left_align">播種性血管内凝固症候群</th>
    <th>同一</th>
    <td class="number-cell"></td>
    <td class="number-cell"></td>
</tr>
<tr>
    <th>異なる</th>
    <td class="number-cell"></td>
    <td class="number-cell"></td>
</tr>

```

この範囲が書き換え対象となる

「敗血症」「その他の真菌感染症」「手術・処置等の合併症」についても、各コメントが記載された<tr>タグ内において、iiと同様に、<td>タグに指標値を入力する。

ii. 解説の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```
<!-- その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)の解説はこのdiv内に入力してください -->  
<div class="comment" id="dic_rate_comment">当院は・・・</div>
```

【ブラウザでの表示】

100040	手術・処置等の合併症	異なる	30	
--------	------------	-----	----	---

当院は・・・

《書き換え箇所の説明》

<!-- その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)の解説はこのdiv内に入力してください -->コメント行の下に記載された id="dic_rate_comment" の<div>タグに解説を入力する。

```
<!-- その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)の解説はこのdiv内に入力してください -->  
<div class="comment" id="dic_rate_comment"></div>
```

⑤【医療の質指標】各指標別の説明

1) リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

i. 指標値の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```
<tr><!-- リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の  
予防対策の実施率はここのtd内に入力してください -->  
    <td class="number-cell">100</td>  
    <td class="number-cell">20</td>  
    <td class="number-cell">20%</td>  
</tr>
```



【ブラウザでの表示】

肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数（分母）	分母のうち、肺血栓塞栓症の予防対策が実施された患者数（分子）	リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率
100	20	20%

《書き換え箇所の説明》

HTML コメント<!-- 【指標 1】 リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率 -->行の下に記載された id="embolism_prev_rate"属性のある<table>タグが、書き換え対象の表となる。

```
<!-- 【指標 1】リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の  
予防対策の実施率 -->  
<div class="div-title-shitsu" id="qi08">リスクレベルが「中」以上の手術を施行した  
患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率<a class="csv_btn qi_data_link"  
href="/data_R06/qi08_embolism_prev_rate.tsv" target="_blank">ファイルをダウン  
ロード</a></div>  
<table width=800 class="template-table-shitsu" id="embolism_prev_rate">
```

<!-- リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率はここの td 内に入力してください -->コメントに記載された<tr>タグ内において、<td>タグに指標値を入力する。上から「分母」「分子」「割合」の順になっており、ブラウザ表示の項目名の左から対応している。

```

<tr><!-- リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対
策の実施率はここのtd内に入力してください -->
      <td class="number-cell"></td>
      <td class="number-cell"></td>
      <td class="number-cell"></td>
</tr>

```

この範囲が書き換え対象となる

ii. 解説の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```

<!-- リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防
対策の実施率の解説はこのdiv内に入力してください -->
<div class="comment-shitsu" id="embolism_prev_rate_comment">当院
は・・・</div>

```

【ブラウザでの表示】

退院患者数（分母）	予防対策が実施された患者数（分子）	予防対策の実施率
100	20	20%

当院は・・・

《書き換え箇所の説明》

<!-- リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率の解説はこの div 内に入力してください-->コメント行の下に記載された id="embolism_prev_rate_comment"の<div>タグに解説を入力する。

```

<!-- リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防
対策の実施率の解説はこのdiv内に入力してください -->
<div class="comment-shitsu" id="embolism_prev_rate_comment"></div>

```

2) 血液培養 2 セット実施率

i. 指標値の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```
<tr><!-- 血液培養2セット実施率はここのtd内に入力してください -->
  <td class="number-cell">450</td>
  <td class="number-cell">150</td>
  <td class="number-cell">25%</td>
</tr>
```



【ブラウザでの表示】

血液培養オーター日数 (分母)	血液培養オーターが1日に2件以上ある日数 (分子)	血液培養2セット実施率
450	150	25%

《書き換え箇所の説明》

HTML コメント<!-- 【指標2】血液培養2セット実施率 -->行の下に記載された id="blood_cul_rate"属性のある<table>タグが、書き換え対象の表となる。

```
<!-- 【指標2】血液培養2セット実施率 -->
<div class="div-title-shitsu" id="qi09">血液培養2セット実施率<a class="csv_btn qi_data_link" href="/data_R06/qi09_blood_cul_rate.tsv" target="_blank">ファイルをダウンロード</a></div>
<table width=800 class="template-table-shitsu" id="blood_cul_rate">
```

<!-- 血液培養2セット実施率はここの td 内に入力してください -->コメントの記載された<tr>タグ内において、<td>タグに指標値を入力する。上から「分母」「分子」「割合」の順になっており、ブラウザ表示の項目名の左から対応している。

```
<tr><!-- 血液培養2セット実施率はここのtd内に入力してください -->
  <td class="number-cell"></td>
  <td class="number-cell"></td>
  <td class="number-cell"></td>
</tr>
```

この範囲が書き換え対象となる

ii. 解説の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```
<!-- 血液培養2セット実施率の解説はこのdiv内に入力してください -->  
<div class="comment-shitsu" id="blood_cul_rate_comment">当院は・・・  
</div>
```



【ブラウザでの表示】

血液培養2セット実施率の解説	2件以上ある日数 (分子)	血液培養2セット実施率
	450	150
当院は・・・		

《書き換え箇所の説明》

<!-- 血液培養2セット実施率の解説はこの div 内に入力してください -->コメント行の下に記載された id="blood_cul_rate_comment"の<div>タグに解説を入力する。

```
<!-- 血液培養2セット実施率の解説はこのdiv内に入力してください -->  
<div class="comment-shitsu" id="blood_cul_rate_comment"></div>
```

3) 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率

i. 指標値の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```
<tr><!-- 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率はこのtd内に入力してください -->  
  <td class="number-cell">90</td>  
  <td class="number-cell">15</td>  
  <td class="number-cell">16.7%</td>  
</tr>
```



【ブラウザでの表示】

広域スペクトルの抗菌薬が処方された退院患者数 (分母)	分母のうち、入院日以降抗菌薬処方日までの間に細菌培養同定検査が実施された患者数 (分子)	広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率
90	15	16.7%

《書き換え箇所の説明》

HTML コメント<!-- 【指標3】 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率 -->行の下に記載された id="bacteria_cul_rate"属性のある<table>タグが、書き換え対象の表となる。

```
<!-- 【指標3】広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率 -->
<div class="div-title-shitsu" id="qi10">広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率<a class="csv_btn qi_data_link" href="/data_R06/qi10_bacteria_cul_rate.tsv" target="_blank">ファイルをダウンロード</a></div>
<table width=800 class="template-table-shitsu" id="bacteria_cul_rate">
```

<!-- 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率はここの td 内に入力してください -->コメントに記載された<tr>タグ内において、<td>タグに指標値を入力する。上から「分母」「分子」「割合」の順になっており、ブラウザ表示の項目名の左から対応している。

```
<tr><!-- 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率はここのtd内に入力してください -->
    <td class="number-cell"></td>
    <td class="number-cell"></td>
    <td class="number-cell"></td>
</tr>
```

この範囲が書き換え対象となる

ii. 解説の記入箇所

《入力例》

【ファイル内容】

```
<!-- 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率の解説はこのdiv内に入力してください -->
<div class="comment-shitsu" id="bacteria_cul_rate_comment">当院は・・・
</div>
```

【ブラウザでの表示】

処方された退院患者数 (分母)	実施された患者数 (分子)	細菌培養実施率
90	15	16.7%

当院は・・・

《書き換え箇所の説明》

<!-- 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率はここの td 内に入力してください -->コメント行の下に記載された id=" bacteria_cul_rate_comment "の<div>タグに解説を入

力する。

```
<!-- 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率の解説はこのdiv内に入力してください -->  
<div class="comment-shitsu" id="bacteria_cul_rate_comment"></div>
```

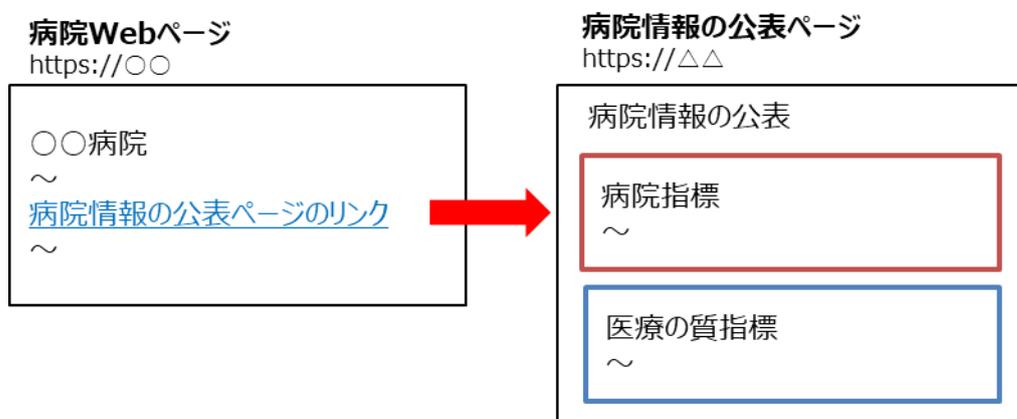
3. 病院情報公開ページの作成規約（R06 テンプレートを利用しない場合）

本項では、病院情報を公開する Web ページを各医療機関が独自に作成するにあたって必要となる要素等の規約について記述する。規約を参照のうえで Web ページを作成すること。

① ページ構成イメージ

「病院情報の公表」ページの中に、「病院指標」と「医療の質指標」の二つが含まれる形式で Web ページを作成すること。

公開時イメージ



② 指標構成イメージと用語の定義

規約の説明に当たり、全指標に共通する指標構成イメージと用語の定義について次に示す。

- ・ 指標見出し欄（div 要素を使用）

その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

ファイルをダウンロード

ファイルをダウンロード

- ・ 指標欄（table 要素を使用）

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一		
		異なる		
180010	敗血症	同一		
		異なる		
180035	その他の真菌感染症	同一		
		異なる		
180040	手術・処置等の合併症	同一		
		異なる		

行見出し

列見出し

指標データ

- ・ 解説欄 (div 要素を使用)

指標に対する解説を記入

解説欄

- ・ 更新履歴 (dl 要素を使用)

更新履歴

更新日

更新内容

2024/9/21

指標「〇〇」の▲▲を更新

③全指標共通

病院情報はページ分けを行わず、全指標を1ページに纏めて掲載する。

【指標見出し欄の「ファイルをダウンロード」について】

指標データをタブ区切りのテキストファイルとしてダウンロードできるようにリンクを作成する。ダウンロード用のテキストファイルに関する詳細は、「4. ダウンロード用テキストファイル項目定義」を参照。

【指標欄 (table 要素) について】

- ・ 「行見出し」、「列見出し」は、R06 公開テンプレート HTML を参照し、同構成にする。
- ・ 「指標データ」は、R06 公開テンプレート HTML を参照し、class 名が” number-cell”の項目には、数値（桁数区切りのカンマ (,) や小数点のポイント (.) を含む)、または、症例数や患者数が 10 未満の場合や表示なしを意味するハイフン (-) 以外

は入力せず、また、画像挿入による表示は行わない。

【更新履歴について】

- ・ 全指標（1 ページ）に対して1つ設定する。
- ・ 「更新日」、「更新履歴」は、R06 公開テンプレート HTML を参照し、同構成にする。

構成	要素	属性	属性値
更新履歴	dl	id	up_hist_list

④ 【病院指標】 作成時に必須となる属性、属性値

1) 年齢階級別退院患者数

構成	要素	属性	属性値
指標欄	table	id	age_series
解説欄	div	id	age_series_comment

2) 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

この指標は、診療科名毎に「指標欄」、「解説欄」を設ける。

構成	要素	属性	属性値
診療科名	div	id	cd_top5_nm_* ※1
診療科コード	input	id	cd_top5_cd_* ※1
		type	Hidden
		value	※2
指標欄	table	id	cd_top5_tbl_* ※1
解説欄	div	id	cd_top5_comment_* ※1

※1 末尾のアスタリスク (*) は、診療科ブロック別に、連番の属性値を設定する。
連番の数值は、同じブロック内の診療科名、データ欄、解説欄の属性値が同じ
数值になるように合わせる。

※2 診療科名の集計対象とした様式1の診療科コードを入力。

「患者用パス」についてリンクを作成する場合は、1つのDPCコードにつき3つまでとし、
1行内に収める。

「患者用パス」サンプルイメージ

			※1
--	--	--	----

※1 末尾のアスタリスク (*) は、診療科ブロック別に、連番の属性値を設定する。
連番の数值は、同じブロック内の診療科名、指標欄、解説欄の属性値が同じ
数值になるように合わせる。

※2 診療科名の集計対象とした様式1の診療科コードを入力。

「患者用パス」については、指標「2）診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位
まで）」を参照。

7) その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

構成	要素	属性	属性値
指標欄	table	id	dic_rate
解説欄	div	id	dic_rate_comment

⑤【医療の質指標】作成時に必須となる属性、属性値

1) リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

構成	要素	属性	属性値
指標欄	table	id	embolism_prev_rate
解説欄	div	id	embolism_prev_rate_comment

2) 血液培養2セット実施率

構成	要素	属性	属性値
指標欄	table	id	blood_cul_rate
解説欄	div	id	blood_cul_rate_comment

3) 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率

構成	要素	属性	属性値
指標欄	table	id	bacteria_cul_rate
解説欄	div	id	bacteria_cul_rate_comment

4. ダウンロード用テキストファイル項目定義

本項では、病院公開指標に付加するダウンロード用の TSV ファイルについて、ファイル仕様・項目定義を説明する。テンプレート作成ツールを使用せず Web ページを作成する場合、本書の説明に則り TSV ファイルを作成し、公開すること。

①注意事項

- ・ 統計値（数値、“-”）については、半角文字とする
- ・ 必須でない項目について、入力値がない場合その項目を空欄とし、区切り文字は省略しないこと

②ファイル仕様（共通）

区切り文字	タブ
改行コード	CRLF
文字コード	Shift_JIS
ヘッダ行	なし
ファイル名称	(各指標による)

③作成するファイルのイメージ

例) 「1) 年齢階級別退院患者数」の場合

カラム数

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
254	122	136	223	356	436	885	902	1,125	879

各カラムの区切りとしてタブを入れる

④【病院指標】指標別項目定義

1) 年齢階級別退院患者数

ファイル名称		qi01_age_series.tsv
カラム	項目	説明
1	10歳未満	(集計条件に準ずる)
2	10代	
3	20代	
4	30代	
5	40代	
6	50代	
7	60代	
8	70代	
9	80代	
10	90歳以上	

2) 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

ファイル名称		qi02_clinical_departments_top5.tsv
カラム	項目	説明
1	診療科コード	(集計条件に準ずる)
2	診療科	
3	順序番号	診療科ごとに患者数の多いものから連番
4	DPCコード	(集計条件に準ずる)
5	名称	
6	患者数	
7	平均在院日数（自院）	
8	平均在院日数（全国）	
9	転院率	
10	平均年齢	
11	患者用パス 1_表記	
12	患者用パス 1_URL	「患者用パス 1_表記」に記載がある場合必須
13	患者用パス 2_表記	(集計条件に準ずる)
14	患者用パス 2_URL	「患者用パス 2_表記」に記載がある場合必須
15	患者用パス 3_表記	(集計条件に準ずる)
16	患者用パス 3_URL	「患者用パス 3_表記」に記載がある場合必須

3) 初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

ファイル名称		qi03_uicc_type.tsv
カラム	項目	説明
1	癌の部位	各行ごとに[胃癌][大腸癌][乳癌][肺癌][肝癌]を入力
2	Stage I	(集計条件に準ずる)
3	Stage II	
4	Stage III	
5	Stage IV	
6	不明	
7	再発	
8	病期分類基準	
9	版数	

4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等

ファイル名称		qi04_com_acquired.tsv
カラム	項目	説明
1	重症度	行ごとに[軽症]～[超重症],[不明]を入力
2	患者数	(集計条件に準ずる)
3	平均在院日数	
4	平均年齢	

5) 脳梗塞の患者数等

ファイル名称		qi05_ci_icd10.tsv
カラム	項目	説明
1	発症日から	集計した単位に合わせ、行ごとに[3日以内][その他][.]を記載
2	患者数	(集計条件に準ずる)
3	平均在院日数	
4	平均年齢	
5	転院率	

6) 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

ファイル名称		qi06_ope_days_top5.tsv
カラム	項目	説明

1	診療科コード	(集計条件に準ずる)
2	診療科	
3	順序番号	診療科ごとに患者数の多いものから連番
4	Kコード	(集計条件に準ずる)
5	手術名称	
6	患者数	
7	平均術前日数	
8	平均術後日数	
9	転院率	
10	平均年齢	
11	患者用パス 1_表記	
12	患者用パス 1_URL	「患者用パス 1_表記」に記載がある場合必須
13	患者用パス 2_表記	(集計条件に準ずる)
14	患者用パス 2_URL	「患者用パス 2_表記」に記載がある場合必須
15	患者用パス 3_表記	(集計条件に準ずる)
16	患者用パス 3_URL	「患者用パス 3_表記」に記載がある場合必須

7) その他 (DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

ファイル名称	qi07_dic_rate.tsv	
カラム	項目	説明
1	DPC 上6桁	行ごとに [130100] [180010] [180035] [180040] を記載
2	傷病名	「DPC 上6桁」に対応する傷病名を記載
3	入院契機傷病との同一性の有無	行ごとに入院契機傷病との同一性について、[同一] [異なる] を記載
4	症例数	(集計条件に準ずる)
5	発生率	

⑤【医療の質指標】指標別項目定義

1) リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

ファイル名称	qi08_embolism_prev_rate.tsv	
カラム	項目	説明
1	肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数 (分母)	(集計条件に準ずる)

2	分母のうち、肺血栓塞栓症の予防対策が実施された患者数（分子）
3	リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

2) 血液培養 2 セット実施率

ファイル名称	qi09_blood_cul_rate.tsv	
カラム	項目	説明
1	血液培養オーダー日数（分母）	（集計条件に準ずる）
2	血液培養オーダーが 1 日に 2 件以上ある日数（分子）	
3	血液培養 2 セット実施率	

3) 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率

ファイル名称	qi10_bacteria_cul_rate.tsv	
カラム	項目	説明
1	広域スペクトルの抗菌薬が処方された退院患者数(分母)	（集計条件に準ずる）
2	分母のうち、入院日以降抗菌薬処方日までの間に細菌培養同定検査が実施された患者数（分子）	
3	広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率	

IV. 集計ができない場合の対応

1. 病院指標の集計ができない場合

集計項目の 2) 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）において、D ファイルの作成がなく、DPC ごとの集計ができない場合、指標の表は掲載せず、掲載がない理由の解説のみ表示する。

【作成ツールから出力した HTML ファイルやテンプレートの修正方法】

1. 病院情報の公表ページ作成ツールや「病院情報の公表」に関する資料ページからダウンロードした” template_R06.html” を任意のテキストエディタ（メモ帳、等）で開く。
2. ファイルの中の、以下の id 属性を持つタグを削除する。

表示項目	id 属性値	タグ
診療科名	cd_top5_nm_0	div
診療科コード	cd_top5_cd_0	input
指標（表）	cd_top5_tbl_0	table

《削除箇所イメージ》

```

<!-- 【指標 2】診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで） -->
<div class="div-title" id="qi02">診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで） <a
class="csv_btn qi_data_link" href="/data_R06/qi02_clinical_departments_top5.tsv"
target="_blank">ファイルをダウンロード</a></div>
<div id="clinical_departments_top5">
  <!-- （1）診療科を増やす場合はここから（2）までをコピーして（2）の下に張り
  付けてください。 -->
  <!-- このdiv内には診療科名を入力してください。 -->
  <div id="cd_top5_nm_0"></div>
  <!-- このhiddenのvalue値に診療科コードを入力してください。 -->
  <input type="hidden" value="" id="cd_top5_cd_0"/>
  <table class="template-table" id="cd_top5_tbl_0">
    <tr>
      <th>DPCコード</th>
      <th>DPC名称</th>
      <th>患者数</th>
      <th>平均<br/>在院日数<br/>（自院） </th>
      <th>平均<br/>在院日数<br/>（全国） </th>
      <th>転院率</th>
      <th>平均年齢</th>
      <th>患者用パス</th>
    </tr>
    <tr>
      <td></td>
      <td></td>
      <td class="number-cell"></td>
      <td class="number-cell"></td>
      <td class="number-cell"></td>
      <td class="number-cell"></td>
      <td class="number-cell"></td>
      <td class="number-cell"></td>
    </tr>
  </table>
  <!-- 診療科別患者数上位 5 位である症例数の情報はこここのtd
  タグ(<xxx>~ </xxx>) で
  囲まれた範囲を削除
  <td></td>
  <td></td>
  <td class="number-cell"></td>
  <td class="number-cell"></td>
  <td class="number-cell"></td>
  <td class="number-cell"></td>
  <td class="number-cell"></td>
  <td class="number-cell"></td>
  </tr>
  </table>
  <!-- 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで） 診療科別の解説
  はこのdiv内に入力してください -->
  <div class="comment" id="cd_top5_comment_0">当院は・・・</div>
  <!-- （2）ここまで -->

```

2. 医療の質指標の集計ができない場合

集計項目の 2) 血液培養 2 セット実施率、3) 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率において、「D018 細菌培養同定検査」が「D025 基本的検体検査実施料」に包括されているため、細菌培養同定検査のデータを抽出できない場合、指標の表は掲載せず、掲載がない理由の解説のみ表示する。

【作成ツールから出力した HTML ファイルやテンプレートの修正方法】

1. 病院情報公開ページ作成ツールや「病院情報の公表」に関する資料ページからダウンロードした”template_R06.html”を任意のテキストエディタ（メモ帳、等）で開く。
2. ファイルの中の、以下の id 属性を持つタグを削除する。

表示項目	id 属性値	タグ
指標（表）	blood_cul_rate	table

3. 該当の指標の中の、以下の class 属性を持つタグを削除する。

表示項目	class 属性値	タグ
ファイルをダウンロード	csv_btn qi_data_link	a

《削除箇所イメージ》

```
<!-- 【指標 2】血液培養 2 セット実施率 -->
<div class="div-title-shitsu" id="qi09">血液培養 2 セット実施率<a class="csv_btn qi_data_link"
href="/data_R06/qi09_blood_cul_rate.tsv" target=" blank">ファイルをダウンロード</a></div>
<table width=800 class="template-table-shitsu" id="blood_cul_rate">
  <tr>
    <th>血液培養オーダー日数（分母） </th>
    <th>血液培養オーダーが 1 日に<br>2 件以上ある日数（分子） </th>
    <th>血液培養 2 セット実施率</th>
  </tr>
  <tr><!-- 血液培養 2 セット実施率はこここのtd内に入力してください-->
  <td class="number-cell"></td>
  <td class="number-cell"></td>
  <td class="number-cell"></td>
  </tr>
</table>
<!-- 血液培養 2 セット実施率の解説はこのdiv内に入力してください-->
<div class="comment-shitsu" id="blood_cul_rate_comment"></div>
```

タグ(<a>~) で囲まれた範囲を削除

タグ(<table>~ </table>) で囲まれた範囲を削除